

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室では、大阪府下の市町村との協働により「健康行動化モデルによる生活習慣病リスク改善効果の検証研究」を実施しています。

【研究課題名】

健康行動化モデルによる生活習慣病リスク改善効果の検証研究

【研究期間】

倫理委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日まで

【研究の意義・目的・方法】

大阪府においては、全国と比較し健康寿命が短い傾向にあります。これは、受診が必要な方が受診しないことによる重症化や、循環器疾患予備群であることに気づいていない等の原因により要介護状態につながっていることが考えられます。健康寿命の延伸に向けて、健診受診率の向上や保健指導の標準化に向けた試みを行うことは急務であるといえます。

保健指導介入の優先度判定ツールを用いて抽出した対象者の方に、既にハイリスク者への受療行動促進効果が立証されているモデル化された受療行動促進モデルを用いて生活習慣改善保健指導を実施することは、一般的な保健指導介入に比べて、データの改善効果があるかを検証することを目的としています。

そのための方法として、参加された大阪府下の市町村で保有している各市町村国保の特定健診結果（2019 年度～2021 年度）や保健指導登録台帳（保健指導実施者の情報（職種、経験年数 等））、保健指導実施記録等を使用して、縦断的研究を行います。

【研究結果の公表】

研究結果は参加された大阪府下の市町村に還元するとともに、学会や学術雑誌で発表します。大阪大学のホームページや広報等に概要が掲載されることがあります。

【研究責任者】

大阪大学医学系研究科公衆衛生学 教授 磯博康

【研究代表者】

大阪大学医学系研究科公衆衛生学 教授 磯博康

【参加市町村】

茨木市、大阪狭山市、交野市、太子町、千早赤阪村、富田林市、阪南市（五十音順）

【個人情報の保護と倫理的配慮について】

本研究では、参加された大阪府下の市町村より各市町村国保の特定健診結果（2019年度～2021年度）や保健指導登録台帳（保健指導実施者の情報（職種、経験年数等））、保健指導実施記録等の提供を受けて研究を実施します。

これらのデータはすべて、データ提供元から、匿名化され、データ開示にはパスワードを要するロック状態でデータが提供されます。すべての対象者には研究用IDが付与され、個人情報（氏名、国民健康保険被保険者番号等）が特定できないデータに加工したのち、特殊配送で大阪大学に送付されます。この匿名化された情報は大阪大学において厳重に管理され、本研究以外の目的に使用されることはありません。

大阪大学において実施された研究結果は、参加された大阪府下の市町村に還元するとともに、集団全体の分析結果として公表します。個人の結果が公表されることはありません。また、住民の皆さまが不利益を受けたり、危険性が生じたりする可能性はありません。

ご自身が分析の対象となることを希望されない方がおられましたら、ご本人またはその代理人の求めに応じて、データ提供元に連絡し、分析から除外するなどの対応ができますので、下記へお問い合わせ下さい。

【本研究に関する問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学

電話番号：06 - 6879 - 3911

メールアドレス：mkyomu@pbhel.med.osaka-u.ac.jp